

2024年10月 旅行取扱高状況報告

< 日本国内における旅行区分別取扱高 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年同月取扱高	2019年同月比
海外旅行	23,968,512	21,568,525	111.1%	32,249,039	74.3%
国内旅行	5,279,337	5,362,168	98.5%	4,712,368	112.0%
訪日旅行	1,696,017	1,098,715	154.4%	1,899,571	89.3%
合計	30,943,867	28,029,410	110.4%	38,860,979	79.6%

※株式会社エイチ・アイ・エス及びグループ5社（株式会社オリオンツアー、株式会社クオリタ、株式会社クルーズプラネット、株式会社ジャパンホリデートラベル、株式会社エイチ・アイ・エス沖縄）の社内取引を相殺した旧会計基準の取扱高となります。また、コロナ以前と比較するとともに、2019年同月比を記載しております。

■海外旅行

月間を通じて「決算 SALE」を開催し、間際の秋旅や年末年始の集客に加え、春休みシーズンの旅行需要喚起に努めました。取扱高では、欧州・中近東・アフリカ方面の航空券手配と添乗員同行のパッケージツアーが好調に推移し、前年同月比 142.0%、2019年同月比 105.9%とコロナ禍以降で初めて上回りました。また、韓国が 50・60 代女性層のシェアを伸ばし、前年同月比 104.6%、2019年同月比では、当時日韓関係悪化により渡航需要が減少していたこともあり 206.3%と高い伸びを示しました。以上の結果、海外旅行取扱高は、前年同月比 111.1%、2019年同月比 74.3%の 239 億 6,851 万円となりました。

< 海外旅行取扱高 方面別・商品別・チャネル別データ >

方面別	2019年同月比
アジア	81.4%
オセアニア・南太平洋	87.6%
ハワイ・ミクロネシア	38.3%
欧州・中近東・アフリカ	105.9%
北米・中南米	67.3%

商品別	2019年同月比
手配旅行	77.6%
企画旅行	69.7%

チャネル別	2019年同月比
店舗	61.3%
オンライン	94.8%

■国内旅行

10月13日より、来年大阪・夢洲で開催される「2025年日本国際博覧会 ©Expo 2025（以下、大阪・関西万博）」の入場券付ツアーの、予約受付を開始。大阪・関西万博のPRシルバートナーとして、関西・中部・中四国発のバスツアーや北海道・東北・関東・九州発の航空機利用ツアーの造成により、日本各地からの集客体制の構築を図りました。

取扱高においては、コロナ禍以降、国内航空券とホテルの仕入れ強化した「ダイナミックパッケージ」が、前年同月比 160.6%と好調に推移したほか、方面別では、鹿児島島キャンペーンを実施したことによる早期予約が奏功し、前年同月比 111.5%、2019年同月比 140.5%となりました。

以上の結果、国内旅行取扱高は、前年同月比 98.5%、2019年同月比 112.0%の 52 億 7,933 万円となりました。

■訪日旅行

取扱高においては、北米、コロンビア、スペインからの団体旅行の受客が好調に推移し、中でも北米マーケットからの受客本数が過去最高となり取扱高を牽引しました。個人旅行向け商材においては、富士・箱根、広島・宮島の日帰りバスツアーの需要が高く、オンラインサイトにおける取扱高が前年同月比 159.1%と高い伸びをみせました。また、ジャパンホリデートラベルでは、中国からの受客に加え、新たに欧州・北米・オセアニアからのクルーズの寄港地観光のハンドリングを請け負うなど、受け入れ地域の拡充に努めました。

以上の結果、訪日旅行取扱高は、前年同月比 154.4%、2019年同月比 89.3%の 16 億 9,601 万円となりました。

2024年10月の日本国内における旅行取扱高合計は、前年同月比 110.4%、2019年同月比 79.6%の 309 億 4,386 万円となりました。

2024年10月 海外における旅行取扱高状況報告

< 海外における旅行区分別 >

(単位：千円)

区分	取扱高	前年同月取扱高	前年同月比	2019年度同月取扱高	2019年度同月比
インバウンド	13,670,224	10,088,449	135.5%	15,433,250	88.6%
アウトバウンド	12,336,852	16,470,901	74.9%	6,643,438	185.7%
合計	26,007,076	26,559,351	97.9%	22,076,688	117.8%

※エイチ・アイ・エス海外現地法人 35 社と海外子会社 4 ブランド (MIKI グループ、MERIT TRAVEL、JONVIEW CANADA、RED LABEL VACATIONS) の社内取引相殺前の取扱高となります。また、2019 年度は旧会計基準、2024 年度のツアー商品は「進行日」、手配旅行は「手配完了日」に計上基準を変更した参考値となります。また、コロナ以前と比較をするため、2019 年度同月比を記載しております。なお、為替換算レートにつきましては、期中平均レートにて算出しております。

※海外におけるインバウンドとは、各海外拠点における旅行受客業務の取扱高。海外におけるアウトバウンドとは、各海外拠点における旅行送客業務の取扱高。

※海外における旅行事業は7月期決算のため、2019年度は2018年10月の業績を比較対象としております。

■ 海外インバウンド

韓国では、釜山国際映画祭やソウル世界花火祭り、K-POP アーティストのコンサートなどの大型イベントがインバウンド需要を喚起し、前年同月比 141.7%、2019 年度同月比 150.3%と好調に推移しました。カナダでは、2024 年 7 月の山火事の影響で落ち込んでいたアルバータ州ジャスパー地域の観光産業が順調に回復していることに加え、団体旅行の受客が好調であったことから、前年同月比 129.9%、2019 年度同月比 143.9%となりました。

海外インバウンド事業の取扱高を牽引する欧州方面では、イタリアが堅調に推移しており、添乗員同行のパッケージツアー商品の受客が 20~30 代のカップルと女性層の需要を捉え、前年同月比 130.8%、2019 年度同月比 80.0%となりました。

以上の結果、海外インバウンド取扱高は、前年度同月比 135.5%、2019 年度同月比 88.6%の 136 億 7,022 万円となりました。

■ 海外アウトバウンド

メキシコでは、現地日本駐在員に人気の旅先である、アメリカ・カリフォルニア州アナハイムのディズニールランド・リゾート、メキシコ国内リゾートへの送客が好調で、前年同月比 150.9%、2019 年度同月比 264.9%となりました。トルコでは、MICE のピークシーズンを迎え、欧州で開催される展示会参加に伴う出張や視察旅行の手配業務を受注し、前年同月比 102.8%、2019 年度同月比 360.4%と推移しました。

海外アウトバウンド事業の取扱高を牽引するカナダでは、リゾート地のメキシコ・カンクンや、ポルトガル、イタリア行きが好調に推移したものの、中東地域の情勢やカリブ海で発生したハリケーンによる航空券予約の減少が影響し、前年同月比 83.0%となりました。(2019 年度同月比は、「RED LABEL VACATIONS (※1)」が非連結)

以上の結果、海外アウトバウンド取扱高は、前年同月比 74.9%、2019 年度同月比 185.7%の 123 億 3,685 万円となりました。

2024 年 10 月の海外の旅行事業取扱高合計は、前年同月比 97.9%、2019 年度同月比 117.8%の 260 億 707 万円となりました。

(※1) RED LABEL VACATIONS (連結対象：2019年3月~)

カナダを拠点にオンライン旅行販売とホールセラー事業を通じてアウトバウンド事業を展開。オンライン販売のブランド (redtag.ca と itravel2000.com) を通して、世界中のパッケージツアー、フライト、ホテル、周遊など、多様な旅行商品を提供。ホールセラーとしては、カナダの旅行代理店にあらゆる旅行商材を提供。2023 年 8 月より HIS グループカナダ法人「HIS Canada Travel Inc.」と合併。

本件に関するお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス

I R室：050-1746-4188

広報室：050-1746-4177